

第2次あきる野市総合計画 令和5年度進捗管理シートに対する総合計画審議会委員からの意見等

R6.7.30時点

対応方針 修正提案（2項目） ⇒ 基本的に修正対応とし、審議会資料シートに反映する。

質問・意見（19項目） ⇒ 所管している部署に確認・回答を作成。
審議会前に対応可能な質問については、質問した委員に対し、事前に回答を送付。
（間に合わない質問に対しては、審議会当日に回答する）

要 望（3項目） ⇒ 基本的には、シート中の「総合計画審議会からの意見」欄に記載。
項目…そのまま記載、 項目…言い換え記載、 項目…特殊（対応困難につき記載しない（要説明））

※「総合計画審議会からの意見（案）」の欄について

委員からの意見がないもの ⇒ 「特に意見が無い」は、「市が示した令和6年度の取組について異議等はなく、そのまま進めて良いため、特に意見が無い」と解釈し、「令和6年度の取組のとおり進められたい」と記載する。

委員からの意見があるもの ⇒ 上記の対応方針に応じて、「そのまま記載」「言い換え記載」等とする。

⇒審議会当日には、事務局から「総合計画審議会からの意見（案）」として説明し、各委員からの意見を踏まえ、採否・修正を審議する。
審議会当日に出た意見についても、審議の上、必要であれば「総合計画審議会からの意見（案）」に加える。

⇒審議会後日、いただいた意見等を反映し、（案）を外し、「総合計画審議会からの意見」として整理、決定。
（書面にて、各審議委員に内容を確認してもらい、会長承認の上、「総合計画審議会からの意見」として決定）
（経営会議等でとりまとめ結果を報告 ⇒ 部長→課長→各係への情報水平展開）

[2 各施策の内容]進捗管理シートについて

番号	委員	対象となる章・節	意見	類型	対応	【担当課】	回答・対応	備考
1		3-3-1①	最近イオンリチウム電池の発火によるごみ焼却場の火災が数件発生している。西秋川衛生組合でも、ここ数年前から火災には至らないがイオンリチウム電池の発火事故が起きている。焼却場サイドでの対応策もさることながら、市においては、混入を未然に防ぐために、市民へのゴミの出し方の周知徹底を図っていくことが、一層重要と考える。 ひとたび焼却場に重大な火災事故が発生すれば、市民生活への影響は計り知れないものとなる。市民への完全な周知徹底は困難であるが、それでも周知を続けていくことが重要だと考える。 そこで、このことを喫緊の課題と捉え、令和5年度の取組における課題欄には、「イオンリチウム電池の混入ゼロに向けて、様々な対策を講じること」を、令和6年度の取組欄には「イオンリチウム電池の混入ゼロに向けて、様々な対策を講じていくこと」を記載し、この課題に向けての取り組み姿勢を示すことが大事だと考える。	意見	各課確認 事前回答	【生活環境課】	⇒（追加） 【5年度の進捗】 充電電池を取り外せない製品は発火の恐れがあるため、分別の徹底について一層の周知が必要である。 【6年度の取組】 充電電池を取り外せない製品は発火の恐れがあるため、分別徹底に向けた取組を行う。	進捗、取組追加
2		1-2「緑豊かで良好な都市景観の形成」	昭和時代に住宅開発した地域には、児童公園的な公園がみられるが、少子化等により、遊具のあり方自体を見直す必要が求められており、地域にあった公園が求められている。公園改修プランの中で、維持管理費の扱いについて早急に対応されたい。	要望	意見記載 そのまま	【都市政策課】	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。	
3		2-3「あるきたくなる街あきる野を目標とした観光業の振興」	観光プロモーションとして、パンフレット、SNS等を使ってアピールしているが、市民が選んだ観光財産である「あきる野百景」等を見直し、新たなパンフレット作成など、市にきていただいた人へ秋川渓谷MAPの見直し、観光サービスの向上対策をされたい。	要望	意見記載 そのまま	【観光まちづくり推進課】	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。	
4		1-3-1-①	●号線と書かれても、どこの道がわかりづらい。	修正提案	修正対応	【都市政策課】	⇒シートとは別に地図資料を審議会当日配布いたします。	
5		1-3-1-①	U字の車止め。そこに車が止めてあり、緊急車両の進入を妨げる可能性がある。問題があるのではないかと。	意見	各課確認 事前回答	【都市政策課】 【建設課】	⇒意見を担当課に共有しました。	
6		2-3-2-②	観光の観点から、公衆トイレは外から見えないものにするなど、先を見越したものにして欲しい。	意見	各課確認 事前回答	【観光まちづくり推進課】	・出入り口の目隠しを設置済みのトイレもありますが、未設置のトイレについては、今後の施設改修の際に検討します。	

7		2-4-2-③	キッコーゴ等も、市のブランドになるのではないかな。	意見	各課確認 事前回答	【農林課】	・キッコーゴも市のブランドになると思います。このシートでいう農産物等とは野菜や畜産物などと捉えております。醤油や清酒などは、加工食品としてのブランドと考えています。	
8		3-3-1-③	おつとめ品の値下げは大手スーパーであればでき、食品ロスに貢献するだろうが、個人商店の値下げは大変である。何か取組を進めてほしい。	意見	各課確認 事前回答	【生活環境課】	・他市で実施している店舗の売れ残りをインターネットで仲介するサービスなど、あきる野市にあった取組の検討を引き続き行ってまいります。	
						【商工振興課】	・国、都の食品ロスに関する補助事業について注視し、小規模事業者が対象になるものがあれば周知してまいります。	
9		3-3-1-④	ゴミ拾い等で、市民の自発的な行動を促してほしい。	意見	各課確認 事前回答	【生活環境課】	・市民の自発的な活動を促すために、公共用地の美化活動を行っている団体の紹介やボランティア袋などについて、積極的に情報提供を行ってまいります。	
10		4-2-3-②	カーブミラーが、汚れや木の枝で見えなくなっている。安全性の観点から、対策をして欲しい。	意見	各課確認 事前回答	【建設課】	・道路パトロールや市民からの情報提供により、現地調査を行い清掃、交換、剪定等の対応を行っております。	
11		4-3-1-①	「障害」と「障がい」は、どのような考えで使い分けている？	質問	各課確認 事前回答	【障がい者支援課】	・人に使う「障がい者」「障がい児」の時はひらがなを使用し、障害を表現する「視覚障害」等の時は害を漢字で表現しています。例外として東京都は障害者の害を漢字で表記していますので、都の補助金等の名称「障害者〇〇補助金」を標記する際は、東京都の標記のまま「障害者」と漢字を使用しています。	
12		5-2-1-①	寿大学等の取組が書かれているが、文化団体連盟の取組はここには入らないか。	質問	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】	・総合計画は、市（公民館が主催の事業）の取組について記載しているものになります。文化団体連盟の活動については、市は補助金を出して、団体の活動を支援しているという立場です。そのため、文化団体連盟の活動は団体の取組であり、市の主催事業には該当しないことから記載しておりません。	
13		6-5-2-③	「協議」の議が抜けて「協」をすすめるになっている。	修正提案	修正対応			修正済
14		1-2-1①	保全すべき緑→農地？ 確保すべき緑→公園？ （記載内容の）意味がわからない。	質問	各課確認 事前回答	【環境政策課】	・「保全すべき緑」とは、生産緑地や農地など、良好な状態を保つ必要がある緑を示しています。また、「確保すべき緑」とは、公園など、緑地として確保する必要がある緑を示しています。このように、同じ緑であっても、その性質に応じて保全等を進めていきたいと考えております。 ・今年度から予定している環境基本計画改定作業において、市内の緑の評価を行います。この評価では、市内の緑地の量（緑被率）やエコロジカルネットワーク形成として緑地の連続性を評価するとともに、市内の代表的な緑地について総合的な視点から緑地の評価を行うことを予定しております。これらの結果を踏まえ、「保全すべき緑」、「確保すべき緑」についての必要な施策・取組を検討してまいります。	
						【都市政策課】	・「保全すべき緑」と「確保すべき緑」についてはいずれも令和2年7月策定の「緑確保の総合的な方針（都・区・市町村）」に位置づけのあるもので、生産緑地（農地）や公園等を指しています。	
15		1-1-1-①②	計画的な都地利用の推進について、街づくりに成功している人（例えば立川を大きく変えている立飛ホールディングスの社長、村山正道氏など）のお話を参考にするなど、講演会は企画しないのか。	意見	各課確認 事前回答	【都市政策課】	・昨年度については、秋川高校跡地及び秋川高校跡地周辺地区のまちづくりに向けた有識者会議を設置・開催し、土地利用転換等の実現へ向けて、有識者の意見を聞く機会を設けました。講演会の企画については現在のところ予定していません。	
16		3-1「連帯・交流に支えられた豊かな地域社会の形成と多文化共生社会の推進」	2011年の東日本大震災の際、公民館を利用して。あの災害は初めてで仕方ないのかもしれないが、公の施設であり、一般市民が大勢利用していた。その事後、職員が各部屋への安全確認をすべきではないか。と意見があった。	意見	各課確認 事前回答	【地域防災課（防災係）】	・「あきる野市事業継続計画（BCP）〈震災・風水害編・雪害編〉」では、災害発生時に社会教育施設利用者の避難及び救護に関すること及び社会教育施設の被害調査及び報告に関することは、発災後直ちに行うことに位置付けられています。災害発生時の対応につきましては、訓練及び日ごろからの備えが重要であると考えております。	
17		3-1「多文化共生社会の推進」	ビクトグラムは、文字よりも分かりやすい。 外国語翻訳機の利用について、どこにあるのか分かりやすく周知して欲しい。 外国では手続きの際に、1度名前等の個人情報を登録すれば、それをオンラインでシェアしてくれるため、日本では書類を何枚も書かないといけないが、外国ではわずか5分もあれば手続きが終る。ペーパーレスには全くなってないし、日本では2時間くらい（市民課、国保、年金、幼稚園、教育委員会など）かかるのは、閉口との事。	意見	各課確認 事前回答	【企画政策課】	・多言語翻訳機の利用について、職員及び市民に対して周知を実施します。職員に対して、多言語翻訳機の設置場所や利用方法などについて通知を出し、利用の促進に努めていきます。市民に対しては、最も活用が見込まれる1階や2階に設置場所などの案内チラシを掲示し、相談しやすい環境を醸成してまいります。	
						【情報政策課】	・「あきる野市DX推進方針」に基づき、行政手続についてオンラインサービスの活用の推進や書かない窓口の導入等に向けた検討を行い、市民サービスの利便性の向上に取り組んでまいります。	

18		3-2-1-④	障害を抱えている人は、一般の人達と一緒に避難は難しいものがある。この点の居場所については、かなり重要と考えられたい。	要望	意見記載 そのまま	【地域防災課（防災係）】 【福祉総務課】 【障がい者支援課】	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。	
19		その他	外国人が今やスポーツ選手にしても、オシャレとして足首などにタトゥーを入れている時代、瀬音の湯とファインプラザでの扱いが違う（※瀬音は入れないのに、ファインプラザは利用できたとのこと）。今やスポーツ選手など、普通にタトゥーを入れている人たちが多く、外国人誘致と掲げているあきる野が誇る有名な温泉にも入れないのはいかがなものでしょうか。古い考えから少し考え直して、外国人もあきる野市を好きになって欲しい。	意見	各課確認 事前回答	【企画政策課】 【観光まちづくり推進課】	・多文化共生の観点においては、文化の違いがあることやタトゥーをしていることで温泉施設等に入れないという実態があることは認識しています。 ・タトゥー・入れ墨は外国人にとっては一般的なものとなっているが、日本人の中には、恐怖感や嫌悪感を感じる方もいる状況です。こうしたことから、現時点ではタトゥー・入れ墨が入っている方の入浴をお断りしています。 ・今後、シールで隠せる大きさのタトゥー・入れ墨がある方について、入浴可能とするか研究いたします。	
20		1-2-2-①	R5年度を取組として公園の多様性に関して年度内に指針を策定とありましたが、いつまでに策定する予定ですか？自然豊かなあきる野市の特徴を活かし、老若男女誰もが安心して立ち寄れる安全な公園。公園が生活の一部となるような魅力的な場所となることを願っています。（誰にとっても徒歩圏内にあるといいですが。）	質問	各課確認 事前回答	【都市政策課】	・現在指針の内容について調整を行っており、令和6年度中に策定及び公表を予定しています。	
21		5-3-2③	①育成リーダーの養成後、認定者に対してどのようなサポートをしていますか？ ②リーダーの方の活動はどのようなものですか？	質問	各課確認 事前回答	【こども政策課】	①年に2回～3回のフォローアップ研修を実施しています。内容は、専門家による子どもに関する講習会、救命救急講習会、リーダーの活動報告等になります。 ②子どもの安全・安心の確保（通学路パトロール等）、子どもの育成のための情報交換・収集（セミナー参加やリーダー同士の連携等）、子どもの指導・支援（経験を活かしたスポーツ・文化活動・郷土芸能の指導や学習支援、リーダーが提案する事業の実施等）になります。	
22		5-5-1-①	文化・スポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、市民（特に若い世代10代～30代くらい）が何を求めているのか調べたことはありますか。また、何か要望があった場合は、対応していくことは考えていますか。	質問	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】 【スポーツ推進課】 【図書館】	・中央公民館、秋川キララホール及びあきる野ルピアにおいて、特定の年齢層に対してニーズ調査を行ったことはありません。また、要望があった際は指定管理者において対応を検討します。 ・「第2次スポーツ推進計画」の基礎資料として、令和3年11月に無造作に抽出した市内在住の16歳以上の2,000名に対しアンケートを実施しました。また、常時、各施設に意見箱を設置し、要望などについて確認を行っており、いただいた意見を参考に、施設の管理や各種スポーツ教室等に反映させるなどニーズに合わせた取組を行っております。 ・過去に市民アンケート、利用者アンケートで調査したことがあります。要望に対しては、できる範囲で対応していきます。	
23		5-3「青少年の健全育成の推進」	前回の意見に対して、どのような対策をされましたか？ （※昨年度のご意見「青少年の健全育成の内容に年齢的な偏りがあるように感じます。青少年世代で主だった取組がみられない世代に対して今後どのような取り組みをしていくのか明確に示していただければと思います。）	質問	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】 【こども政策課】	・前回、市からの補足としてお伝えしましたとおり、「こども計画」における位置付けを明確にするほか、上位計画である次期基本計画における位置付けを検討していきたいと考えています。 ・「こども計画」については、今後こども計画策定・推進委員会を設置し、策定します。	

24		1-3-4-①	<p>昨年度意見をした内容がどのように検討されているのか教えて欲しい。大事なことだと思うので、是非ご検討いただきたい。</p> <p>(以下、4年度のシートへの掲載内容)</p> <p>【4 河川施設の整備・維持管理 ①河川施設の整備・維持管理】</p> <p>環境政策課においては、生物多様性保全の観点から、保全に関する記載がされているが、ハード面からも捉えてほしい。災害から人命を守るため、市河川水域近辺の低地における住宅地域の治水対策、内水排水対策等が必要である。河川管理者との連携の下、ハザードマップを参考に河川付近の対応、取組についても検討してほしい。最近では台風19号で浸水した山田付近の住宅地区があり、ほかにも五日市や多西地区にも同様な箇所がある。ぜひ検討して具体化してほしい。</p>	質問	各課確認 事前回答	【建設課】	・関係部署と協議の上、方向性を確認してまいります。
25		1-3-1-①	<p>昨年度意見をした内容がどのように検討されているのか教えて欲しい。大事なことだと思うので、是非ご検討いただきたい。例えば、草花羽村大橋近くなど。</p> <p>(以下、4年度のシートへの掲載内容)</p> <p>【1 道路の整備 ①道路の整備の推進】</p> <p>市内には狭小、狭隘な道路や、大規模住宅地の出入り口が一方方向の道路しかない箇所があり、災害（火災、水害）が発生した際には、緊急車両の通行や、避難が難しい箇所がある。具体的にどのような対策（道路の拡幅、出入り口一方通行等の解消）をしていくのか、国土強靱化の取組や防災上の見地からも、ぜひ検討して具体化してほしい。</p>	質問	各課確認 事前回答	<p>【都市政策課】</p> <p>【住宅政策課】</p>	・「都市計画マスタープラン」の交通体系整備の方針や防災まちづくりの項目の中で、安全性と防災性の高い生活道路の整備や狭あい道路の整備を進めることとしています。
26		3-2-1-①	<p>家庭内備蓄は大切で、進めるべきですが、市の全避難所へも非常食をストックするべきだと思います。計画を進めてほしい。</p>	意見	各課確認 事前回答	【地域防災課（防災係）】	・市の食糧備蓄については、旧秋川図書館や五日市出張所などの公共施設を中心に行っていますが、スペースや管理が可能な小中学校や孤立する可能性のある自治会館などにも施設管理者のご協力をいただき備蓄しております。引き続き、家庭内備蓄の推進とともに検討していきます。